

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[19]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[37]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[35]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	ほか3名、合計6名にて活動

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A、B、Cほか3名	3班に分かれ資機材を搬送	①地上アンカー ②塔上スタート側 ③塔上要救助者側
経過2	A、C	①地上アンカーに展張計及びチルホールを設定	
経過3	A、C	チルホールにワイヤーを通しロックをかける	
経過4	A	展張棒を取付け展張開始	
経過5	C	来客が来たため①を離れる	
経過6	A	継続して展張実施	
経過7	A	展張計からチルホールが外れる	
経過8	A	顔面にチルホールが接触し負傷	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった 危険事象の対応方法を知らなかった 資機材の操作がうまくいかなかった 指揮者が適切に指示しなかった 後方からの監視が行き届いていなかった 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった 他隊(員)から適切な注意を受けられなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	はい

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

安全管理者不在の時間があり、一人で牽引した。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意欠如、焦り等の対策について

事故後に、訓練準備時安全管理の徹底として、マニュアルができたので、関係する隊員全員が安全管理に対して高い意識を持ち作業にあたっている。更にまだ起きていないヒヤリハットを各隊員から出してもらったことで、安全主任者等の安全管理を行う側も、注意すべき点が明確になった。

○装備・資機材の対策について

救助訓練に使用する施設及び資機材の点検は、資機材設定の前に訓練隊員及び展張作業を行う全員で実施する。

○活動環境の対策について

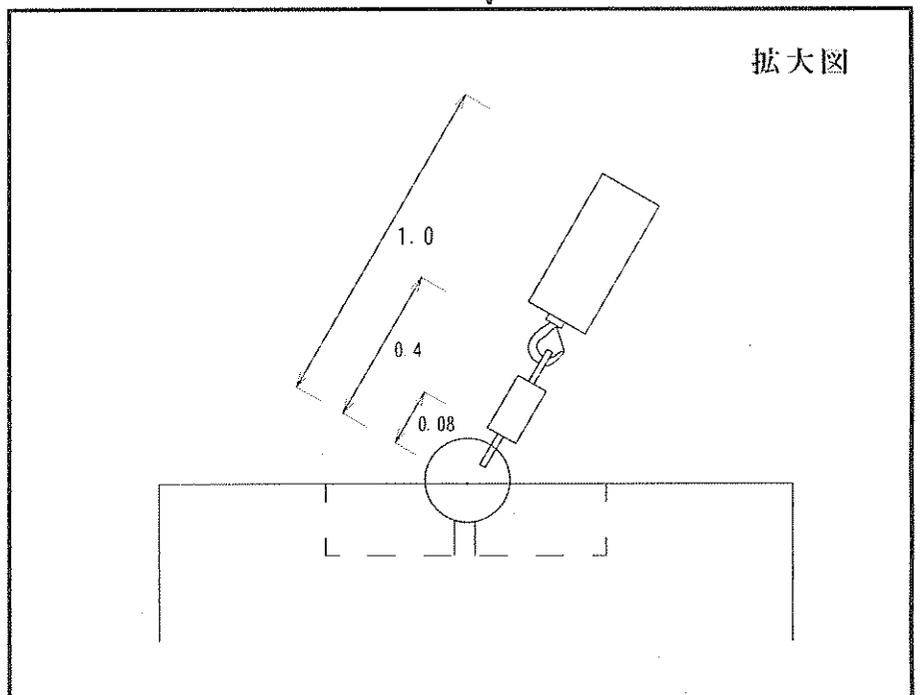
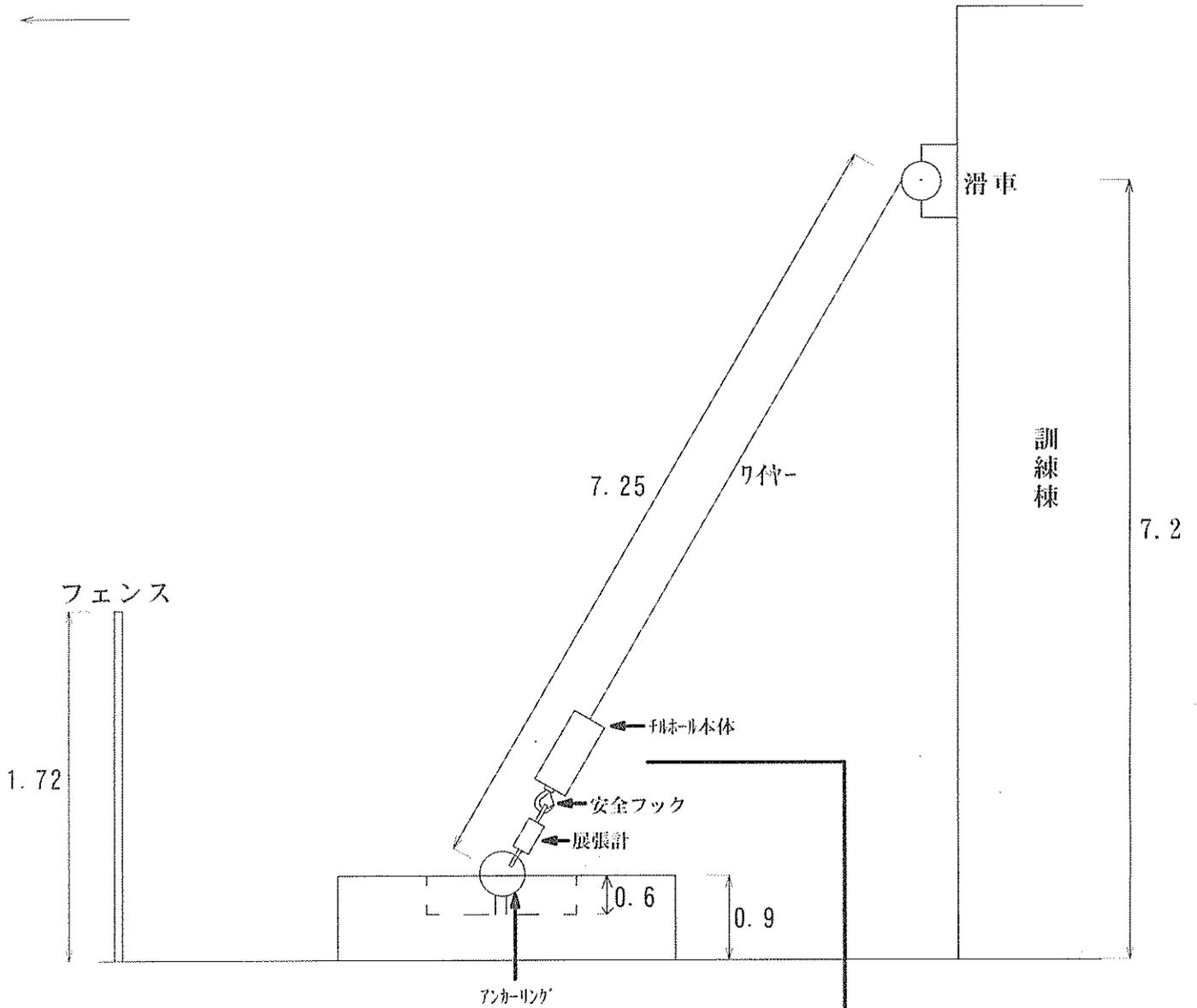
ブリッジ線展張作業は、チルホール設定2人、水防倉庫棟1人、高層訓練棟1人及び安全主任者、安全副主任者の6人以上で実施する。

○指揮・情報伝達の対策について

設定作業は3箇所に分かれて実施するため、地上の安全主任者が3箇所の安全を確認したのち牽引を開始する。

西面から見た図
(立体図)

N ←



凡例

単位：メートル